

「命を輝かす人間」

# 東宇治中だより



平成30年11月1日(木)

宇治市五ヶ庄池ノ浦36-1 TEL 0774-39-9172

## 目指す生徒像

思いやりの心を持った生徒  
自他を大切にできる生徒  
質の高い学力を身に付けた生徒  
目標に向かって努力する生徒  
健康や安全に気を配る生徒  
あいさつのできる生徒

学習の秋、自らを見つめ・・・

校長 田中 康

朝夕はめっきり冷え込むようになりました。一雨毎に秋も深まり、そろそろ暖房の恋しい季節となりました。

2学期の中間テストも終わり、学校全体が後半戦に入りました。

3年生からバトンを受け継ぎ、1・2年生で迎えた秋季大会は、4つの運動部が宇治市で優勝する活躍を見せてくれました。目標は、全国大会を目指す夏の大会です。よい結果を得た部も、惜しくも努力が成果に結びつかなかった部も、しっかりと自分たちの姿を振り返り、チームとして、個人として、一つ一つのプレーを分析し、どのような練習が必要であるか、どこを鍛えればいいのか等を考え、目標に向けて計画を修正し直し、質の高い努力を追求してほしいと思います。

さて、山城駅伝の壮行会でも触れたのですが、お正月の箱根駅伝を現在4連覇中の青山学院大学陸上部の原晋監督が3連覇した時のインタビューで答えておられたことです。強さの秘訣を聞かれた時、「選手個々の目標設定と管理」と答えられ、陸上部の組織について話されました。「青山学院大学陸上部では、ランダムグループをつくり部員同士で、目標管理ミーティングを行っている。ランダムにする理由は、学年・レギュラー・控え・故障者等、現在の立場の違う選手が、お互いがことばにすることで、お互いの目標を客観的に見直せることができ、より達成可能な目標を設定できるようになる。主力選手や故障選手だけのグループにするとチームが分断されるのだが、ランダムだとチームの一体感を生み出すことができる。」のだそうです。皆さん、「一隅を照らす」という言葉が具体的に実践された集団であることに気づきましたか。

九州大学名誉教授であった故岩橋文吉先生が「人はなぜ勉強するのか」という著書の中で「人には、その人にしかない独特の尊い持ち味が与えられている。・・・それは優劣の比較ではなく、それ自体がかけがえのない尊さなのである。それを見つけ出して自己実現の喜びを味わうことが幸せな人生ではないか。」そして「この授かった尊い持ち味を見つけ出すことが『勉強』である。」と言っています。岩橋先生は、激動の幕末に「人はなぜ勉強するのか」という命題に真摯に向き合い、松下村塾で「志」を門下生たちに伝えた吉田松陰を基に説明しています。後、この松下村塾の門下生たちが明治維新に大きく影響したことは有名です。自分自身を見つめ、「自分にできることは何か」「自分に与えられたことは何か」を考え、自分で行動できることこそが勉強なのでしょう。

進路に向けて走り出し、頑張りを見せ始めている3年生、秋季大会を終え冬のトレーニングの時期を迎えた1・2年生、ぜひ心も同時に成長させてください。そして、私たち大人も、謙虚な気持ちで、共に学び成長しようとする姿勢で子どもたちと接していきたいものです。

## ◇宇治市中学校秋季総合体育大会結果

平成30年10月6・7日(土・日)

雨天のため、予定が変更されて実施された競技もありましたが、以下のような結果となりました。

- 【団体の部】  
 ☆優勝 女子ソフトテニス部、剣道部男子、剣道部女子、野球部  
 (野球部は天候不良による試合未消化による4校優勝)
- ☆準優勝 サッカー一部  
 ☆第3位 男子卓球部
- 【個人の部】  
 <剣道男子> ☆高学年 1位 古関侑真(2-4)  
 <ソフトテニス女子> ☆1位 岡崎遥奈(2-5) 面出紫音(2-3) ペア  
 ☆2位 竹今ななみ(2-1) 田村汐璃(2-5) ペア



## ◇山城地方中学校駅伝競走大会

平成30年10月20日(土)高山ダム周辺

晴天の中、南山城村の高山ダム周辺道路で山城地方中学校駅伝競走大会が実施されました。1年生を中心とした男子チームが健闘しました。区間順に、藤林祐貴(1-3) 田中修哉(1-3) 松田友(1-4) 西出雄大(1-2) 高澤優斗(1-5) 寄田天馬(1-2)のメンバーに襷が繋がりました。



## ◇がんばっています! 東宇治中生

- ◆平成30年度 近畿中学生ソフトテニス選抜インドア大会山城予選会  
 団体戦(10月20日) 3位 女子団体 (府大会出場)  
 個人戦(10月13日) 優勝 岡崎遥奈(2-5) 面出紫音(2-3) ペア (府大会出場)

- ◆山城地方中学校秋季山城決定戦軟式野球の部(10月27・28日)  
 野球部 第3位